

研究所アドバンスドセミナー

院内職員のごなたでも来聴歓迎です

講師:

中田 晋 先生

京都薬科大学 病態薬科学系
臨床腫瘍学分野 准教授

講演タイトル:

「様々ながんで高発現する GGCTとがん幹細胞性との関連」

概要:

γ グルタミルシクロトランスフェラーゼ(GGCT)は、グルタチオンの合成と分解の両方に関与しレドックス代謝恒常性維持に寄与すると考えられています。GGCTは様々ながんにおいて高発現し、最近私たちはそのメカニズムに、undruggableながん遺伝子c-Mycおよびc-Jun転写因子による制御が関与することをみいだしました。GGCTの阻害はがん細胞の増殖を抑制し、その際、細胞内システイン量を減少させ、ROSレベルを上昇させることがわかりました。ニューロスフェア法で維持した膠芽腫幹細胞において、低酸素刺激やスフェアの増大に伴ってGGCTタンパク質レベルが増加しました。また、GGCTをノックダウンすると、幹細胞性を制御するHedgehog経路やNotch経路が抑制される新規知見についてもお話しさせていただきたいと思えます。

日時:

令和6年9月3日(火) 16:00から

場所:

研究所6階 会議室

問い合わせ: 研究所 藤木 内線5402